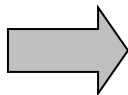


アンケート結果（自由意見）に対する回答

○再編の方法に対する意見

- ・再編しなくていいので、今の校舎を新しくしてほしい。
- ・中学校は1校でよいが、通学距離等を考慮しても小学校は2校にするべきではないか。
- ・地区的に採銅所小は分校で残してもよいのではないか。

・・・など

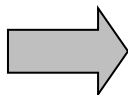


児童生徒数の減少や学校の適正規模等について、将来の教育環境を考えると、第4次行政改革大綱や学校整備基本方針に定められているように、1小学校1中学校に再編する方向で住民の理解を得ながら進めていく。
採銅所小学校を分校とする案については、今後検討していく。

○再編の進め方に対する意見

- ・地域住民や保護者に意見を聞くべきではないか。
- ・再編について住民の意見を聞いて、その意見に基づいて話を進めていけばよいものを、再編のみを押し進めて大変不愉快だ。
- ・今の状況より良くなるのか、悪くなるのか、もっと意見の交換が必要。

・・・など

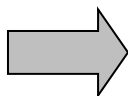


随時、住民説明会を開催し、説明と意見交換の場を設ける。
また、審議会の内容等はホームページで公開し、必要に応じて住民アンケートを行うことも検討する。

○通学や安全面に対する意見

- ・通学にはスクールバスを出してくれるのか。
- ・通学の方法や安全は、どのように確保するのか。場所がどこであろうと、遠い距離になる。

・・・など

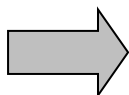


遠距離通学となる地域についてはスクールバスの運行を行うとともに、自転車通学や公共交通機関による通学も検討していく。
また、通学路の安全面についても、今後検討していく。

○新しい学校（ハード面）についての意見

- ・駐車場のスペースを確保してほしい。
- ・冷房を完備してほしい。
- ・再編することで維持経費等が減少し、その分を子どもたちの教育を充実できるような設備投資に充ててほしい。

・・・など

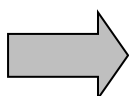


住民の方の要望も取り入れながら、必要な設備を審議会等で協議し、基本設計を行っていく。

○新しい学校（ソフト面）についての意見

- ・学力向上に向けた対策をしてほしい。
- ・学童保育をもっと充実させてほしい。
- ・特別支援学級にも力を入れてほしい。

・・・など

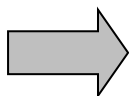


住民の方の要望も取り入れながら審議会等で協議し、必要に応じて専門部会を設置する。また他市町村の学校再編事例を参考にしたり、県の助言を受けながら検討をしていく。

○廃校に伴う地域に関する意見

- ・地域との関係が希薄にならないような校外活動や学校行事等、町ぐるみで盛り上げ、見守っていける学校になればと思う。
- ・母校がなくなる。
- ・再編後の自分たちの学校（出身校）の歴史を残したい。

・・・など

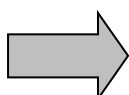


地域で行う校外活動や学校行事を行うよう、協議していく。
また、新しい校舎内に、現在ある小中学校の歴史資料を展示する部屋の設置を検討する。

○情報がなくわからないという意見

- ・財政的にどうなるのか。新しく建設した場合にかかる費用と、改修・改築した場合の費用を具体的に比べたい。
- ・老朽化が進んでいるからといって、小中一貫校にする意味がわからない。

・・・など



財政面や小中一貫校のメリット・デメリットについても、審議会等で協議・検討した後、随時、住民説明会等で住民に説明していく。

小中学校建設候補地について

1. 検討課題

(1) 通学

- ①児童生徒の通学路等で安全が確保できる場所であること。
- ②児童生徒の負担を軽減するため、通学距離を最短にできる場所であること。
6小中学校の中心で集まりやすい場所。

(2) スクールバス

- ①スクールバス発着の利便性を考え、バス駐車場が確保できる広さがあること。
- ②登下校時には、多くのスクールバスが行き来するので、周辺道路の幅員が確保できる場所であること。

(3) 避難場所

- ①緊急時の避難場所でもあるため、災害時、水害等の危険性が少ない場所であること。また、緊急車両の乗り入れが可能な場所であること。

(4) 学校敷地面積

- ①小中が連携した取り組みを必要とするため、小中学校が隣接または一体化した校舎の敷地面積が確保できる場所であること。
- ②余裕をもった敷地面積が確保できる場所であること。
30,000㎡以上の用地が必要。
- ③追加での用地買収を伴わない場所であること。

(5) 周辺公共施設の活用

- ①運動会等、学校行事の時に、周辺公共施設の駐車場の活用ができる場所であること。

2. 候補地の検討について

(1) 香春小学校 15,725 m² (国土調査面積、H28 年度確定予定)

校舎は比較的新しいため、改修増築で対応できるメリットがあるが、学校敷地面積が不足しているため、新たな用地買収を行う必要がある。

隣接している道路幅員が5m 前後と狭く、スクールバスの運行が困難。

(2) 勾金小学校 14,028 m² (図面による計測)

学校敷地面積が不足しているため、新たな用地買収を行う必要がある。

隣接している道路幅員が5m 前後と狭く、スクールバスの運行が困難。

(3) 中津原小学校 21,736 m² (図面による計測)

学校敷地面積が不足しているため、新たな用地買収を行う必要がある。周辺の農地を買収することになり、基幹産業である農地の減少が危惧される。また、御祓川からのアプローチは困難。

(4) 採銅所小学校 9,258 m² (国土調査確定面積)

校舎は比較的新しいため、改修増築で対応できるメリットがあるが、学校敷地面積が不足しているため、新たな用地買収を行う必要がある。

隣接している道路幅員が5m 前後と狭く、スクールバスの運行が困難。

(5) 香春中学校 12,476 m² (国土調査面積、H28 年度確定予定)

国道322号線からの出入り口を新設すれば、利便性は高まるというメリットはあるが、学校敷地面積が不足しているため、新たな用地買収を行う必要がある。

(6) 勾金中学校 42,984 m² (図面による計測)

再編対象校6校中、採銅所小を除いた5校の半径2km圏内であるため、集まりやすい場所に位置しているといえる。平成31年度に供用開始予定である国道322号バイパスに隣接しており、スクールバスの乗り入れが可能。また、緊急時の避難場所でもあるため、緊急車両の乗り入れにも適している。

学校敷地面積が十分確保でき、小中校舎の建設が可能のため、新たな用地買収が不要である。小中が同一場所に建設できるため、小中連携体制が可能。

デメリットは、国道隣接による交通安全、騒音、排気ガス対策を検討する必要がある。

(7) 田川農林高校跡地 65,592 m²

学校敷地面積が十分確保でき、スクールバスの乗り入れも可能。町有地ではないため、福岡県との協議が必要。バス遠足等で大型バスを必要とする場合、大型バスの乗り入れが困難なため、学校での集合ができない。

香春町立小中学校再編説明会 アンケート

◇このアンケートは、来場者の意識調査を行い、今後の説明会の参考とさせていただきます。下記設問について、該当するものに○を付けていただきますようお願いいたします。

問1. お住まいの地区は、どの小学校区ですか？

1. 採銅所小学校区
2. 香春小学校区
3. 勾金小学校区
4. 中津原小学校区
5. 町外

問2. あなたの年齢はおいくつですか？

1. 29歳以下
2. 30歳～39歳
3. 40歳～49歳
4. 50歳～59歳
5. 60歳以上

問3. お子さんがいる場合、お子さんについてお答えください。

(あてはまるもの全てに○)

1. 未就学児(0歳～6歳)
2. 小学1～3年生
3. 小学4～6年生
4. 中学生
5. 上記以外(なしを含む)

問4. 本日の説明会の進め方や内容について

1. よくわかった
2. だいたいわかった
3. わからなかった
4. 説明不足である
5. その他()

問5. 小中学校再編は必要だと思いますか？

1. 必要である
2. 必要だと思うが、まだ先でよい
3. 必要ない
4. わからない
5. その他()

問6. 小中学校の再編について、ご意見等をご自由にお書きください。

ご協力いただきありがとうございました。

お帰りの際、台紙・鉛筆と一緒に受付の回収箱に入れてください。